

日本生殖看護学会

ニュースレター

No.

60

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)

目次

・ 理事長挨拶	1
・ 新理事の紹介	2
・ 第19回日本生殖看護学会学術集会報告、優秀賞を受賞して	3
・ 2021(令和3)年度日本生殖看護学会書面総会議事録	4
・ 日本生殖看護学会は、2022年で設立20周年を迎えます!	4
・ 2021年度 収支予算書	5
・ 日本生殖看護学会 生殖看護地区実践セミナー企画	5
・ これから行われる学術集会・研修会情報	6
・ 2021年度不妊症看護認定看護師ポストコース研修会	6
・ 理事会報告	7
・ 学会誌に投稿しよう!	8
・ 事務局からのお知らせ	8
・ 原稿を募集しています	8
・ 編集後記	8

理事長挨拶

理事長 上澤悦子



わたくし、上澤悦子は第6期から第7期と2期継続して日本生殖看護学会理事長の任を拝命しました。新副理事長の坂上明子氏および新理事・監事の役員と共に、会員の皆様のために力を尽くしていく所存です。

本学会は、次年度には20周年を迎えます。今年度もコロナ禍のため書面総会となりましたが、事業計画は、要綱でお知らせいたしました。まずは、本学会HPの刷新を行うこと、生殖看護実践をサポートするテキストを作成すること、日ごろの看護実践を研究につなげる支援を行っていきます。また、理事会の若返りと活性化にむけて、臨床実践家の理事を複数迎えておりますので、会員のニーズにそった活動をしていきたいと考えています。

ところで、皆様も危惧、ご心配されていることと存じますが、2020年から不妊症看護認定看護師（認定看護師制度での新名称は生殖看護に変更）の養成停止のままとなっております。なんとか立ち上げられないかと模索しておりますが、未だまだ目途がたっていないことを報告せざるを得ません。各施設で不妊症看護CNとして活躍されている修了生の皆様は、後輩を育成できないもどかしさのなかにおられることと存じます。

また、次年度から生殖医療治療費の経済的支援として保険適用が話題になっているなかで、不妊症看護CNによる保健指導の診療報酬につなげるために、森明子先生代表の科研結果を提示して厚生労働省に訴えましたが、実現化にはまだまだ道半ばという感覚です。

わが国は世界一ART治療数が多い「生殖医療大国」にも関わらず、親子関係等の法的整備が遅れており、様々な不安をその都度、解消できる相談体制も不足しています。受療者からは「医師からの治療方針や説明を聞いただけでは理解できなかった、看護師からもう少し時間をかけてわかりやすく説明を受けたい」、「仕事と生活、治療をするなかでの現在の不安な気持ちを聴いてほしい、アドバイスがほしい」など、看護職への要望を多く聴いています。特に、今後数年は、withコロナ禍での医療が継続することが予想されます。臨床ではリモートでの相談会開催など様々な工夫を凝らしたケアをされていますが、カップルで一緒に診療に行けない、当事者同士話し合う機会がないなど、不妊治療受療者の孤独感は強くなっているように感じます。皆様、生殖看護の役割や将来について、ぜひ、一緒に考えていきましょう。

学会事務局の移転もあるなか、学会の代表としまして精一杯努力いたします。何卒ご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

新理事の紹介



**副理事長、将来検討委員会
坂上明子氏**

今年度より副理事長と将来検討委員を拝命しました。学会のさらなる発展に向けて理事長を支援し、学会の将来構想を検討するとともに、研究助成の募集と運営、研究推進活動、国内外の情報収集・発信に努めていきたいと思ひます。



**総務委員会
森 明子氏**

引き続き総務および看保連WGを担当します。今期から学会事務局が東京工科大学鎌田キャンパスの医療保健学部内に移ります。COVID-19のため、まだしばらく事務局業務対応は影響を受けそうですが、コミュニケーションを保ち、会員の皆様に不自由をおかけしないようにしていきます。



**会計委員会
清水清美氏**

前期に引き続き今期も会計を担当させていただきます。皆さまの大切な会費の管理を不正なく、明確に実施していきます。どうぞよろしくお願ひします。



**会計委員会、教育推進委員会
中村 希氏**

引き続き会計と今期から教育推進委員を務めさせていただきます。学会員の皆さまが生殖看護の発展のために有意義に活動継続できるよう会計管理と教育を推進していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。



**編集委員会
實崎美奈氏**

今年度より編集委員会を担当いたします。会員の皆様の貴重な研究成果や実践報告を学会誌で共有できるようにサポートさせていただくことで、生殖看護の発展に貢献できればと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



**実践開発委員会
小松原千曉氏**

今期より理事に就任し、実践開発委員を担当致します。不妊症看護に携わる看護職の皆様が不妊に悩むカップルに対して、質の高い看護実践が行えるよう尽力したいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。



**教育推進委員会
野澤美江子氏**

今期より教育推進委員を拝命しました。生殖看護の質の向上を目指した教育セミナー及び不妊症看護認定看護師ポストコースの企画、生殖看護地区実践セミナーの開催を支援していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



**教育推進委員会
奥島美香氏**

今年度より、教育推進委員に拝命を受けました奥島美香と申します。生殖医療が取り巻く環境は常に変化し、高い技術と支援が求められています。皆様と共に学び合える教育活動が出来るように頑張りたいと思ひます。



**広報委員会
崎山貴代氏**

広報を担当します。ニュースレターの作成を通じて最新の情報発信に努めます。また、学会の理念や活動の啓発に努め、生殖看護の周知と会員獲得につなげます。どうぞよろしくお願ひいたします。



**監事
村本淳子氏**

今回も引き続き森恵美先生とご一緒に監事を務めさせていただきます。生殖医療は近年とくに多方面で社会の注目、期待を集めています。生殖医療・治療とともに生殖看護がさらに質向上し、発展していけるよう学会活動での役割を果たしていきたいと思ひます。



**監事
森 恵美氏**

人間ならば成人となった本学会がさらに健全に発展・成長できるように、村本監事とともに引き続き学会運営の監査等を担当させていただきます。COVID-19収束後を見据えて、学会活動の変革が求められていると思ひます。一会員としても監事としても、日本生殖看護学会の発展と若手研究者・看護実践者の育成、世代交代を考えながら、本役割を務めさせていただきますので、何卒よろしくお願ひいたします。

第19回日本生殖看護学会学術集会報告 「激動の時代の生殖看護－ COVID-19の影響を考える－」

学術集会長 森 明子（湘南鎌倉医療大学）

第19回学術集会は、去る2021年9月12日(日)にライブ配信し、翌13日から26日までオンデマンド配信で開催いたしました。当学会では初めてのWeb学会となりました。

2020年の年明けと同時に私たちは史上初めての新型コロナウイルス感染症（以下 COVID-19）のパンデミックを経験し、生殖看護との関りについて、皆様と共に考えたいと選定したテーマでした。教育講演にはぜひ、COVID-19によって私たちに起こったことを紐解いてくれるような内容をお願いしたいと心理学者の錢 琨氏に「COVID-19流行下における人間の心理と行動の変容～新しい日常に向けて」をお話いただきました。そして不妊治療から周産期医療をつなぎ、COVID-19に対する臨床現場での取り組みを共有したいと考え、シンポジウム「妊娠に備える女性を感染症から守るためには」を持ちました。不妊治療施設から、浅田 義正氏と皆吉 田津子氏、周産期医療施設から、橋口 和生氏、平林 奈苗氏 にご登壇いただきました。

また、「生殖補助医療法」が成立し、生殖補助医療の保険適用に向けた動きが活発化してきた折でもありましたので、石原 理氏に「生殖医療に関連する法整備と経済的支援の深層」と題して、贅沢にも二つの話題を取り上げてご講演いただきました。

そして、本学法人や教育の特色も取り上げたいと考え、井上 裕美氏に「豊かなアフリカ社会を夢描く人達：医療とお産の原点に戻って」と題し、アフリカにおける、不妊を含むリプロダクティブヘルスの現状について、お話いただき、私たちがCOVID-19の問題下において大切にすべきものは何かを考えさせてくれる温かいメッセージをいただきました。地域を基盤とした支援を考えるセミナー「地域における不妊支援」では、湯村 寧氏から「神奈川県ならびに横浜市における不妊支援」について、櫻井 純子氏から「離島における不妊治療と支援の状況」についてご講演いただきました。保健師として、離島に暮らす不妊治療を受けている人たちの存在について初めて気づかされたとの率直な言葉は印象深いものでした。

さらに当学会は不妊症看護認定看護師の活動を盛り立てる目的もあるため、認定看護師特別企画として「治療施設オンライン見学」「WEBによる不妊相談活動の紹介」を設けました。これも初めての試みでした。一般演題も口演、ポスター発表ともにどれも有意義な内容で会員の生殖看護への情熱を感じるものでした。

幸いなことにどのプログラムも好評で主催者としては嬉しい気持ちで終えることができました。少人数の事務局でしたが、企画委員や理事・監事の皆様の支援の下に参加者の皆様と学術的交流が持てたことに深い感謝の意をお伝えしたいと思います。

「第19回日本生殖看護学会 優秀賞を受賞して」

千葉大学大学院看護学研究院 前原邦江 岩田裕子 森恵美

不妊治療の普及により、産科外来等でもARTを受けた妊婦さんの心理社会的ニーズに配慮した対応が求められる場面が増えていると感じます。そこで、生殖看護を専門的に学んだ経験のない看護職者の皆様に向けて、オンラインで受講できる看護研修プログラムを考案しました。今回のモニター調査から、この研修の意義を明確にすることができました。発表をご覧いただいた専門家の皆様から、プログラムの実用化に向けたご意見をいただければ幸いです。この受賞を励みに、本研究を前に進めていきたいと思っております。ありがとうございました。

IVFなんばクリニック 太田恭子

きっかけは、「体外受精に進むことのできない患者がいる」ということでした。POI患者に声を掛け、涙を溜めてやるせない思いを話される姿に、看護師としてできないことはないかと同僚との会話からチームに繋がり、患者会を開催することができました。日々の業務の中での疑問が、「看護」に繋がっていくのだと経験できた一例でした。今回の発表に携わっていただいた共同演者の方々、看護部スタッフの皆様、ご指導くださった学会担当者様にこの場をかりて感謝申し上げます。この度は貴重な賞をいただきどうもありがとうございました。

2021 (令和3) 年度日本生殖看護学会書面総会議事録

2021 (令和3) 年度の総会は前年度に引き続いてCOVID-19の収束が見通せない状況を勘案し、書面総会を予定し実施した。

期間は2021 (令和3) 年9月8日～2021 (令和3) 年10月1日まで (必着) とした。

1. 議案について

報告事項

- 1) 理事会報告
- 2) 総務 (事務局) 報告
- 3) 事業報告
- 4) 2020 (令和2) 年研究助成申請結果
- 5) 第20回学術集会と集会長について
- 6) 2021年 (令和3～5年度) 理事・監事選挙結果

審議事項

- 1) 2020 (令和2) 年度収支決算ならびに会計監査
- 2) 2021 (令和3) 年度事業計画案
- 3) 2021 (令和3) 年度収支予算案
- 4) 次期理事長および副理事長の承認

送付資料

- ・2021 (令和3) 年度日本生殖看護学会総会要綱
- ・日本生殖看護学会会則変更案・新旧対照表
- ・2020 (令和2) 年決算書・2021 (令和3) 年予算書
- ・議決権行使書兼委任状ハガキ

2. 決議結果について

会員323名に議案送付し (内宛名不明戻り2通)、133名 (回収率41.2%) の返信があった。会則第18条により、開催成立。

賛成112、反対0、委任状21、無効0。

賛成数は審議事項すべてに対してで、意見等は記入無しであった。

以上より、審議事項はすべて承認された。

(議事録作成者：森 明子)

日本生殖看護学会は、2022年で設立20周年を迎えます！

不妊看護ネットワークから始まり、2003年に産声をあげた日本生殖看護学会は、会員の皆様に支えられ、20年の節目を迎えます。

「このような学会にしたい」「このような活動をしてほしい」など、皆様のご希望を事務局までどんどんお寄せください。社会に貢献できる学会をいっしょに作り上げていきましょう！

2021年度 収支予算書

(2021年9月1日から2022年8月31日まで)

一般会計

収入の部

(単位：円)

大科目	小科目	予算額	備考
会費収入	年会費	2,820,000	350名×8,000円 2名×10,000円
繰越金	前年度繰越金	8,929,920	
総収入合計		11,749,920	

支出の部

科目	小科目	予算額	備考
会 議 費		[540,000]	
	理事会会議費	300,000	
	総会費	240,000	総会資料郵送・はがき代含む
事業費	広報委員会	350,000	ニュースレター発行・リーフレット印刷 地区セミナー開催・ポストコース開催 Fine祭り相談員の派遣 学会誌発行 研究促進研修会 第20回学術集会補助費
	教育推進委員会	360,000	
	実践開発委員会	50,000	
	編集委員会	400,000	
	将来検討委員会	200,000	
	学術集会補助費	500,000	
事務費		[580,000]	
	人件費	400,000	アルバイト (PC入力・HP管理) 印刷機含む
	通信費	60,000	
消耗品費	120,000		
団体登録料		[160,000]	
	日本看護系学会協議会	80,000	
	看護系学会等社会保険連合 日本カウンセリング学会	70,000 10,000	
活動費		[50,000]	
	ワーキンググループ活動	50,000	看保連・すこやか親子21 生殖看護コンピテンシーモデルの創生
20周年記念活動費	HPリニューアル	[1,000,000] 1,000,000	HPリニューアル・マイページ作成
支出合計		4,190,000	
予備費等		7,559,920	
総支出合計		11,749,920	

特別会計：研究助成金積立金

(単位：円)

小科目	予算額	備考
2021年度積立金	0	
2021年度助成金	0	助成金なし
前年度までの積立金	938,136	
合計 (A)	938,136	

日本生殖看護学会 生殖看護地区実践セミナー企画

日本生殖看護学会教育推進委員会では、会員が主催する各地区のセミナーを支援しています。ぜひ、効果的（学習目標が達成できる）、効率的（参加者・主催者が目標を達成するまでの負担が大きくない）、魅力的（参加したいと思える、もっと学びたいと思える）なセミナーを企画してみませんか。

初めて企画を担当される方、あるいは自分たちの地区でもセミナーを開催したいけれども、どうしたらよいかかわからない等がありましたら、お気軽にご相談ください。

詳しくは学会ホームページ（生殖看護地区実践セミナー企画について）をご覧ください。

【お問合せ・連絡先】 日本生殖看護学会教育推進委員会 担当理事 野澤美江子
e-mail : jsfn.edu@gmail.com

これから行われる学術集会・研修会情報 (2021年11月～2022年2月)

月	日	学会・研修会名	会場	学会HP／運営事務局
11月	6日～7日	日本女性医学会学術集会 (第36回) 「女性医学：女性の健康の総合的門番」	ナレッジキャピタル コングレコンベン ションセンター/ イベントラボ (大阪府大阪市)	http://www.congre.co.jp/jmwh36/info.html 【運営事務局】 株式会社コングレ大阪本社内 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-13 TEL: 06-6229-2561 FAX: 06-6229-2556 E-mail: jmwh36@congre.co.jp
	11日～12日 (オンデマンド配信: 11月26日～12月9日)	日本生殖医学会学術集会 (第66回) 「Towards a Sustainable Reproductive Medicine」	米子コンベンション センター BIG SHIP、 米子市文化ホール (鳥取県米子市)	https://www.kwcs.jp/jsrm2021/ 【運営事務局】 株式会社キョードープラス 〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1 TEL: 086-250-7681 FAX: 086-250-7682 E-mail: jsrm2021@kwcs.jp
	11日	生殖医療コーディネーター講習会 「オンライン看護相談について」	Zoom	http://www.jsrm.or.jp/qualification/coordinator_training.html
	18日～20日	国際妊孕性温存学会 (The 7th World Congress of the International Society for Fertility Preservation: ISFP)	ブリュッセル (ベルギー)	https://isfp2021.cme-congresses.com/
12月	12月4日～5日 (オンデマンド配信: 11月19日～12月28日)	日本看護科学学会学術集会 (第41回) 「共創による新たな看護科学の可能性」	WEB開催のみ	https://www.cs-oto.com/jans41/ 【運営事務局】 株式会社 オフィス・テイクワン 〒451-0075 名古屋市中区康生通2-26 TEL: 052-508-8510 FAX: 052-508-8540 E-mail: jans41@cs-oto.com
1月	8日～9日	日本生殖内科学会学術集会 (第26回)	金沢市アートホール (石川県金沢市)	http://jsre.umin.jp/shuukai.htm 【運営事務局】 金沢大学医薬保健研究域・医学系 産科婦人科学 E-mail: seishoku26@med.kanazawa-u.ac.jp
2月	12日～13日	日本がん・生殖医療学会学術集会 (第12回) 「がん生殖医療の未来を見据えて ～垣根のない医療をめざして～」	名古屋国際会議場 (愛知県名古屋市)	https://www.medic.mie-u.ac.jp/12oncofertile-congre/ 【運営事務局】 (株) ヒューマンリプロ・K 〒226-0003 神奈川県横浜市長谷6-19-20 TEL: (045) 620-7560 FAX: (045) 620-7563 info@j-sfp.org (学術集会全般)

2021年度不妊症看護認定看護師ポストコース研修会

担当：教育推進委員会

テーマ：生殖医療・看護の現状から考える「実践力・研究力アップのための方略」

開催日時：2021年12月18日(土) 13時30分～17時

開催方法：Zoomを用いたweb開催

プログラム：

受講対象者：不妊症看護認定看護師

定員：100名

参加費：無料

時間	プログラム	内容・方法
13:30～13:40 (10分)	開催挨拶・ガイダンス	
13:40～14:40 (1時間)	講演	テーマ：事例検討会の勧め～事例を用いた問題解決思考～ 講師：聖路加国際大学 青木美紀子准教授
14:40～15:00 (20分)	休憩	
15:00～16:30 (1時間30分)	事例検討	グループに分かれて実施 【事例(予定)】 ①高齢女性への卵子提供への意思決定支援 ②PCOS女性の生活習慣改善と生殖医療への取り組み支援 ③乳がん女性の妊孕性温存から胚移植への意思決定支援 ④精神疾患をかかえたART妊娠の妊婦の支援 ⑤LGBTカップルが家族を構築するための意思決定支援 ⑥不育症女性の流産時の支援
16:30～17:00 (30分)	事例検討の発展	・感想と振り返り ・研究への示唆
17:00	閉会挨拶・アンケート入力	

申込方法：下記のURLよりお申し込みください。(締切11月30日(火)、定員になり次第受付終了)

<https://forms.gle/KEz83EHqoJdEjzN7>

なお、申込の際に事例の希望をお伺いしますが、人数調整の都合上ご希望に添えない場合もありますこと、ご了承ください。申込みが完了しましたら、改めてセミナーの参加方法についてご案内をさせていただきます。

問合せ先：日本生殖看護学会教育推進委員会 野澤 美江子

東京工科大学医療保健学部看護学科 e-mail: jsfn.edu@gmail.com

理事会報告

第4回臨時(書面)理事会

日時：2021年6月8日(火)

場所：書面による

【審議事項】

1. 入会審査：12名の入会を承認

第3回Web理事会

日時：2021年8月5日(木) 18:00～20:15

方法：Web会議(Zoom)

出席者：上澤、森明(学術集会長兼務)(書記)、實崎、崎山、坂上、清水、柴田、中村、村本、五十嵐(選挙管理委員長)

欠席者：野澤、村上、森恵(敬称略)

【報告事項】

1. 令和3年日本生殖看護学会理事・監事選挙結果
2. 第19回日本生殖看護学会学術集会準備進捗状況
3. Club Bayer 寄附プログラム寄附対象団体候補審査結果
4. 広報委員会：今後の活動計画、NLの発行方法
5. 教育推進委員会：12月の認定看護師対象研修会、2月の生殖看護教育研修会・ポストコース会計報告
6. 実践開発委員会：10月Fine祭りへの認定看護師の派遣
7. 編集委員会：学会誌第18巻の発行
8. 将来検討委員会：2021年度研究助成申請の報告
9. 総務：総務報告
10. 会計：報告事項なし
11. 看保連対応WG：8月厚労省ヒアリング
12. 健やか親子21推進協議会WG：報告事項なし
13. その他：2021年総会および総会要綱について

【審議事項】

1. 入会審査：次年度からの入会希望者1名の入会を承認
2. JSFN事務局移転及び関連変更事項
3. 利益相反に関する規程及び利益相反申告書の改正
4. 学会誌論文投稿既定の改正
5. 2020年度決算報告、2021年予算案
6. 理事任期制導入の確認
7. 新役員顔合わせ会について

第4回Web理事会

日時：2021年9月8日(水) 18:00～19:20

方法：Web会議(Zoom)

出席者：上澤、實崎、崎山、坂上、清水、柴田、中村、村本、村上、森恵、森明(学術集会長兼務)(書記)

欠席者：野澤(敬称略)

【報告事項】

1. 次期学術集会長：第19回日本生殖看護学会学術集会準備進捗状況
2. 理事長：事務局の移転について
3. 実践開発委員会：Fine祭り相談員派遣予定
4. 編集委員会：査読委員登録について
5. 教育推進委員会：活動報告。12月不妊症看護認定看護師対象の研修企画
6. 会計：修正2020年決算書、2021年予算書
7. 総務：新理事顔合わせ会報告、総会要綱
8. 将来検討委員会：なし
9. 広報委員会：ニュースレター次号内容確認
10. 看保連対応WG：なし
11. 健やか親子21推進協議会WG：なし

【審議事項】

1. 入会及び退会審査：21年度入会希望者3名を承認。退会者13名、強制退会者14名承認
2. 会則第2条および第17条の改定に関する審議：事務局の住所変更。理事・監事の任期制の適用、①理事長推薦理事の制度②次期選挙における理事と監事の別々投票

新理事Web顔合わせ会

日時：2021年8月23日(月) 18:00～19:10

場所：Zoom

出席者：奥島、上澤、小松原、坂上、崎山、實崎、清水、中村、野澤、村本、森恵、森明(書記)

1. 本学会会則：改正予定事項
2. 理事会および理事の役割について
3. 次期理事長・副理事長の互選：(2021.9.1～2024.8.31)
次期理事長＝上澤 悦子氏、副理事長＝坂上 明子氏、
監事＝村本 淳子氏、森 恵美氏に決定
4. 委員会分掌等役割分担・引き継ぎについて：各委員会等の担当理事決定
教育推進委員会＝野澤 美江子、奥島 美香、中村 希
広報委員会＝崎山 貴代
実践開発委員会＝小松原 千暁
将来検討委員会、健やか親子21WG＝坂上 明子
編集委員会＝實崎 美奈
総務、看保連WG＝森 明子
会計＝清水 清美、中村 希
5. 次期理事会年間開催予定

学会誌に投稿しよう！

日本生殖看護学会誌(第19巻第1号)への投稿締切:2021年11月19日(金)

皆様が行った研究や実践を論文として形にすることは、生殖看護に携わる看護職者に知識を与え、広く活用されることにより看護の質の向上につながります。研究に協力してくださった方々へ感謝の気持ちを示すことにもなります。学術集會でご発表くださいました皆様、投稿にチャレンジしてみませんか？

投稿に関する詳細は、学会ホームページの「論文投稿規定」をご確認ください。なお、今年度より原稿送付先が変更となっておりますのでご注意ください。

たくさんのご投稿をお待ちしております！

<原稿送付先・ご連絡先>

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1
産業医科大学 広域・発達看護学講座 實崎 美奈 宛

事務局からのお知らせ

1. 学会事務局が移転しました。新しい所在地は、下記の囲み内をご覧ください。電話はありませんので、電子メールにて、ご連絡ください。なお、お返事はすぐにできないことも有りますのでご了承ください。
2. 学術集會、編集委員会への問合せは、それぞれの事務局に直接お願いいたします。
3. 日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、HP、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mailで気軽にご連絡ください。
4. 学会の年会費は8,000円です。会費納入は事業運用上、できるだけお早めにお問い合わせ申し上げます。当会から送付した払込取扱票を無くされた方は、下記の口座番号と加入者名を、郵便局備付の払込取扱票にご記入の上、納入してください。
5. 異動・転居された方は必ず事務局までお知らせください。宛先不明ですと、ニュースレター、学会誌をお届けすることができませんので、ご協力お願い申し上げます。
6. 会員数350名(2021年7月24日現在)です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のある、お知り合いの方にぜひ入会をお誘いください。入会案内および入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。

日本生殖看護学会 事務局

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22 東京工科大学医療保健学部看護学科内
E-mail: jsfnjimu@gmail.com HP: <http://jsin.umin.jp>
口座番号: 00170-333413 加入者名: 日本生殖看護学会

原稿を募集しています！

ニュースレターを通じて実践活動や勉強会などの情報を共有しませんか？掲載を希望される方は広報委員会(sakiyama.takayo.xk@ehime-u.ac.jp)までご連絡ください。次号の原稿締切日は、2021年1月21日(金)を予定しています。

編集後記

COVID-19の発見から時が経ち、2021年も終わりが近づいてきました。今年は、初のオンライン学術集會が開催され、その発表内容からは新しい支援方法が導入されている様子が伺えました。新しく生み出された支援方法のメリットは今後に残していきたいですね。個人的には、マスク装着や遠隔授業が長期化したせいか、顔認証機能や表情筋が衰えた感があります。早くコロナ感染が落ち着き、表情を見て相互作用を交せる平安な日々を取り戻したいです。

広報委員会 崎山貴代、阿部正子、小池弘子